

平成 17 年 6 月 13 日

2 号機タービン建屋内における水漏れについて

平成 17 年 6 月 11 日午前 4 時 10 分頃、定期検査中の 2 号機タービン建屋地下 1 階の気体廃棄物処理系^{*1}放射線モニタサンプリングラック室にあるサンプリングポンプ^{*2}(A)から水漏れがあることを当直員が発見いたしました。ただちに当該ポンプを停止し、水漏れは停止いたしました。

現場を確認したところ、当該ポンプの入口弁が閉まっており、その状態で当該ポンプを起動したため、当該ポンプの一部が破損し、配管内に溜まっていた凝縮水^{*3}が漏れたものと推定いたしました。

入口弁が閉まったまま当該ポンプを起動した原因は、6 月 9 日に気体廃棄物処理系漏えい検査のため当該ポンプの入口弁を閉めておりましたが、気体廃棄物処理系の系統構成準備のために当該ポンプを起動する際、入口弁の開閉状態に関する当直員間の相互確認において、当該ポンプとは別のポンプの入口弁の開状態を確認してしまったためです。

今回の対応として、当該ポンプを修理いたします。また、当該事象を当直員に周知し、気体廃棄物処理系のサンプリングポンプの起動前に入口弁が開いていることを確実に現場で確認するよう徹底するとともに、事象のデータベース化を行い、今後の知見として活かしてまいります。

なお、漏えい量は約 2.5 リットル、放射エネルギーは約 1.2×10^3 ベクレルであり、拭き取り清掃を実施いたしました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 : 気体廃棄物処理系

復水器内の真空維持のため、復水器内で凝縮できなかった放射性ガスを抽出して減衰処理し排気筒から放出するための系統。

* 2 : サンプリングポンプ

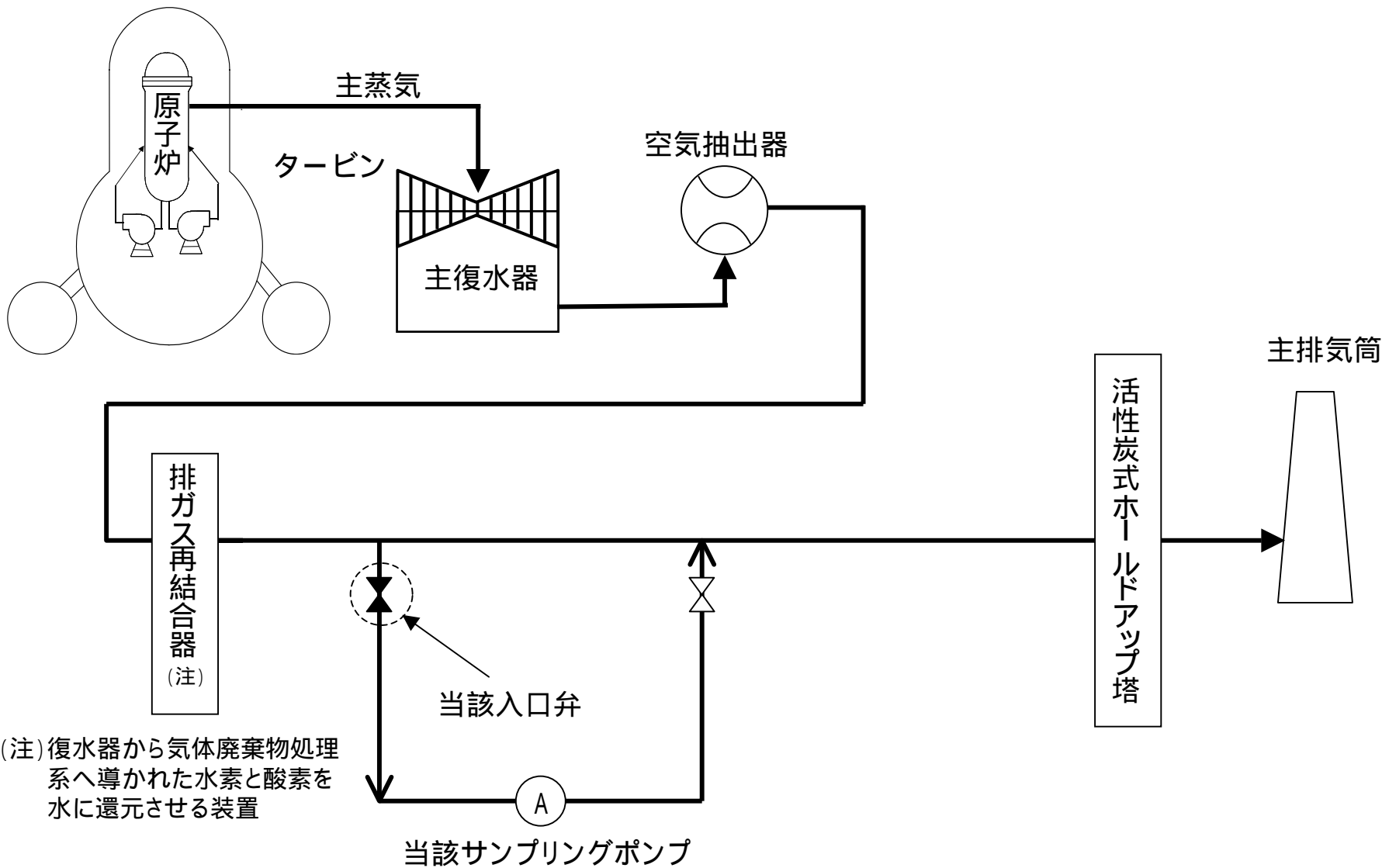
気体廃棄物処理系のガスをサンプリングするポンプ。

* 3 : 凝縮水

運転中にサンプリングしているガス中に含まれる微量の水分が放射線モニタ配管内で凝縮した水。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」(平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み)における区分の事象として、休日に発生した不適合事象を翌営業日に公表しているものです。

原子炉格納容器



2号機気体廃棄物処理系概要図